

二国間クレジット制度(JCM)の下での REDD+の最新動向と今後の展望

ーラオスでの実例を中心とした途上国でのCO2クレジット事業展開ー

日時 2017.7.28 [金]

10:00-12:00

※終了後に企業個別相談会を実施します

場所 早稲田大学26号館 (大隈記念タワー)
11階1102会議室

プログラム

- 9:30 受付開始
- 10:00-10:20 開会挨拶 天野正博(早稲田大学)
- 10:20-10:50 「ラオス国ルアンパバーン県でのJCM-REDD+プロジェクト紹介」
Dr. Chanh Samone Phongoudome (ラオス国立農林業研究所)
- 10:50-11:15 「日本企業のJCM-REDD+進出へのヒント」 平塚基志(早稲田大学)
- 11:15-11:50 質疑応答 司会進行：天野正博(早稲田大学)
- 11:50-12:00 閉会挨拶
- 12:00-13:00 企業個別相談会



REDD+とは

REDD+とは、途上国での森林減少・劣化を抑制することでCO2排出量を削減する事業であり、事業を通して得られるCO2排出削減量の対価としてクレジットを発行するものです。JCM-REDD+は、日本と途上国の二国間合意に基づく制度（二国間クレジット制度）の下でREDD+事業を実施するもので、二国間で連携して実施する活動によりクレジットが発行されます。

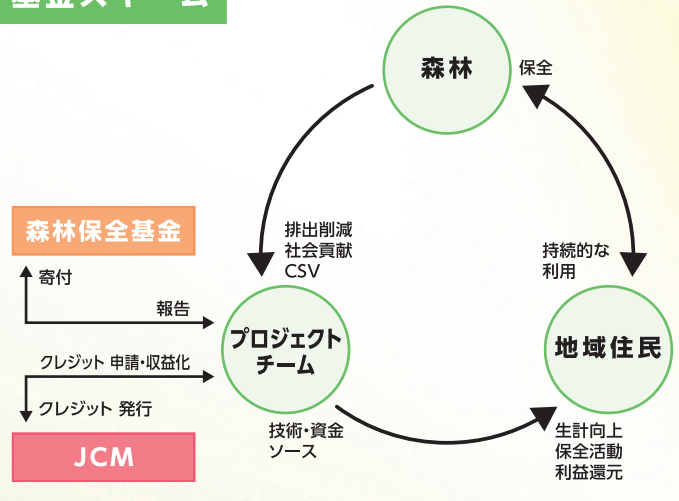
早稲田大学の取組み

早稲田大学では、環境省補助金（二国間クレジット制度を利用したREDD+プロジェクト補助事業）の支援を受け、ラオス国ルアンパバーン県を対象に森林減少・劣化の要因である焼畑移動耕作を抑制するため、代替生計の導入や森林管理の普及を進め、住民参加型の森林保全に取り組んでいます。

この事業を紹介するとともに、この度、早稲田大学に設置する「森林と保全基金」の説明会を行います。基金は、地域住民に対する技術指導や住民組織の強化などの現地活動に活用いたします。

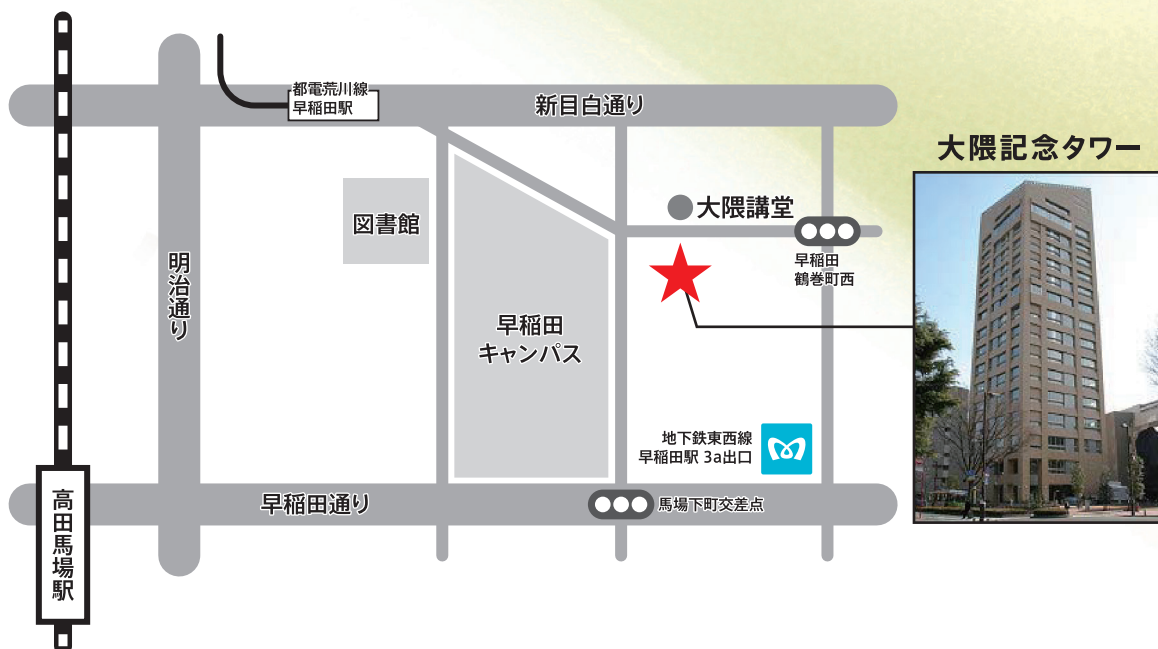
ラオスを含め途上国でのREDD+に係る取組・事業に興味を持つ企業、団体様の参加をお待ちします。

基金スキーム



アクセス

- 東京メトロ東西線 早稲田駅 3a出口より徒歩2分
- JR山手線・西武新宿線 高田馬場駅より都バス「早大正門」行き 終点より徒歩3分



【申込みメール】waseda-sfss@w-as.jp

件名：「JCM-REDD+ セミナー申込」

本文：「氏名」、「ご所属」、「メールアドレス」、「電話番号」を記載したメールをお送りください。

【問い合わせ】早稲田大学アカデミックソリューション 長岡・上野